

だい かい  
第15回  
まいにち にゅうりょく  
毎日パソコン入力コンクール  
しゅう き たいかい  
秋季大会  
か だい  
【課題】  
だい ぶ わぶん ちゅうがくせい  
第5部 和文A 中学生  
さい とうひょうかのう  
18歳から投票可能に？  
せいげんじかん ぶん  
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、平成27年3月8日付 毎日新聞 教えて!デスク「18歳から投票可能に?」、毎日新聞社 月刊Newsがわかる 2014年4月号「生きもののマネですごい技術ができた」より引用しました。(文字数2,100字程度)

かだいぶんしょう きんそくもじ  
<課題文章の禁則文字について>

毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでいるため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルどおりに入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっぽんしゃだんほうじん

一般社団法人

にほん

日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援


そうむしょう  
総務省


もんぶかがくしょう  
文部科学省


こうせいろうどうしょう  
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう  
経済産業省ほか


ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく  
1行35字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所で行 (Enter) してください。


18歳から投票可能に？ 


国、自治体などのトップや議員を決める選挙で投票できる年齢（選挙権年齢）が、「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられることになりそうです。早ければ来年夏の参議院議員選挙から実現し、約240万人の未成年者が投票できるようになります。選挙権年齢が下がることで、何が変わるのでしょうか。 


選挙権年齢を下げる直接のきっかけになったのは、昨年6月に施行（効力が開始）された改正国民投票法です。 


憲法を改正するために必要な国民投票ができる年齢を4年後に18歳以上に引き下げるとい内容です。国の将来の大きな基本を決める国民投票で、できるだけ若い人にも投票してもらいたいという考えからでした。 


国民投票ができる年齢と選挙権年齢をそろえるため、共産党と社民党を除く与野党は昨年、2年以内に国民投票ができる年齢と選挙権年齢を、18歳以上にする法律を作ることで合意していました。 

昨年秋の臨時国会には、選挙権年齢を18歳以上に引き下げる公職選挙法改正案が提出されました。しかし、衆議院が解散されたことで一度は廃案になってしまいました。 

今開かれている通常国会（会期は6月24日まで）に再提出されました。周知期間が1年とされているので、今国会で成立すれば来年夏の参院選から実施される可能性が高くなります。 

今回、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられる見通しになったことをうけ、引き続き、国民投票ができる年齢も18歳以上にする時期を前倒しする法改正にも取り組むこととなります。選挙権年齢と国民投票ができる年齢がいずれも18歳以上でそろうことになれば、憲法改正のための国民投票を実施しようとする雰囲気が高まる、と考える政党もあります。 

日本で選挙権年齢が現在の20歳以上になったのは1945年からです。それまでは25歳以上でした。年齢の引き下げは70年ぶりという大改革になります。もっとも、米国や英国を含めた多くの国では、すでに18歳以上に選挙権があり、20歳以上という日本は世界のなかでは少数派でした。 

ただし、投票できる年齢が引き下げられるだけでは何かが変わるわけではありません。選挙権は、民主主義の国の国民にとってもっとも大切な権利です。選挙される側の政治家の行動は、「誰が投票してくれるか」ということに大きく影響されるからです。 

日本では、以前から若者の投票率が低いことが大きな問題になっています。政治は国の将来に関わることで、若者にとってこそ大きな影響があるは

ずです。しかし、実際には高齢者のほうが投票率が高いため、政治家は高齢者向けの政策を重視しがちになっているのが現実です。これを変えるためには、若者が政治への関心を高めて選挙に行くしかありません。◀

もう一つ残された問題は、私たちが生活していく上でのいろいろなルールを定めた「民法」上の成人年齢（20歳）との関係です。選挙権年齢と成人年齢が異なるのは不自然だという指摘があります。法務大臣の要請で集まった有識者らの会議では、成人年齢の18歳への引き下げを答申したこともあります。▶

ただ、成人年齢は飲酒や喫煙ができるようになる年齢とも関係します。改正すべき関連の法律が多数に上るという理由もあり、いまのところは具体的な話は進んでいません。▶

◀  
生きもののマネですごい技術ができた▶

ヤモリやカタツムリは壁から落ちない。蚊の針は刺しても人に痛みを与えない。当たり前のようにいて不思議な生きものの力。そのしくみや働きをヒントにして、新しいモノや技術が次々に生まれている。自然の知恵もすごいが、人間もがんばっているゾ。▶

ヤモリの足には接着剤も吸盤もない。壁をはっても落ちない秘密はびっしりと生えた毛。一本一本と壁が急接近すると引き合う力が生まれる。毛1本のは弱いが足1本に50万本もあると体を支えられる。その構造を再現した日東電工のヤモリテープは強力にくっつき、すばやくはがせる。1センチ角で500グラムのペットボトルの水が持ち上げられる。▶

生きものの特徴をまねる技術は身近なところにもある。元祖といえるのが面ファスナー。1948年、スイス人が洋服にくっつく野生ゴボウの実から思いついた。面ファスナーをじっくり観察すると、ゴボウの実のようなフック状の糸が並んでいるのがわかる。▶

たいていの人は蚊に刺されても気づかない。蚊の突き出た口は髪の毛よりも細い。先端のギザギザを動かして皮膚を切って刺すが、細いのであまり痛みを感じない。このギザギザをまねた痛くない注射針をライトニックス（兵庫県西宮市）が製造している。4月からは海外でも売り出される。▶

青く輝く羽を持つモルフォチョウ。りん粉には青い色素がないが、独特の形によって、光を反射する時に青色だけが強くなる。形によって生まれる色を構造色といい、特有のきらめきが魅力。染料を使わないので、色あせもない。▶

生物の知恵を技術に生かすことはバイオメティクスと呼ばれる。以前は良い製品を作ることが主な目的だったが、持続可能な社会へ技術の転換が求められる現代では、4億年も自然に適応し変化してきた生き残り戦略に学ぼうと重要性が増している。